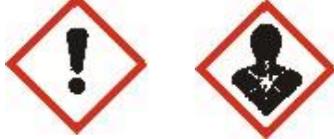


安全データシート

改訂日2022年9月2日

1. 製品及び会社情報 化学品の名称 推奨用途 会社名 住所 電話番号	テトラフルオロほう酸ナトリウム 試験研究用 米山薬品工業株式会社 大阪市中央区道修町2丁目3番11号 (06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島) FE0084
整理番号	FE0084
2. 危険有害性の要約 GHS分類 健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2A 特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分3(気道刺激性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分1(骨)
ラベル要素 絵表示又はシンボル	
注意喚起語 危険有害性情報	危険 強い眼刺激 呼吸器への刺激のおそれ 長期又は反復ばく露による骨の障害
注意書き	【安全対策】 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 【応急措置】 吸入した場合、気分が悪い時は医師に連絡すること。 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 【保管】 容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。 【廃棄】 内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。
3. 組成、成分情報 化学物質・混合物の区別 化学名 別名 化学式 化学物質を特定できる一般的な番号 含有量 官報公示整理番号(化審法、安衛法) その他	化学物質 テトラフルオロほう酸ナトリウム ほうふっ化ナトリウム NaBF_4 CAS RN: 13755-29-8 98%以上 (1)-53 / 公表 HSコード: 2826.90
4. 応急措置 吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 医師の診断、手当てを受けること。
5. 火災時の措置 適切な消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 棒状放水 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
特有の消火方法	

消火を行う者の保護	消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。 環境中に放出してはならない。 漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
環境に対する注意事項	
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 飲み込みを避けること。 皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避	
保管	
安全な保管条件	施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 ポリプロピレン
容器包装材料	
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	2.5mg/m ³ (asF)
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
目の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	結晶性粉末
色	白色
臭い	該当情報なし
融点/凝固点	384°C(分解)
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし
燃焼性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし
引火点	該当情報なし
自然発火温度	該当情報なし
分解温度	384°C
pH	該当情報なし
動粘性率(粘度)	該当情報なし
溶解度	水 109g/100cm ³ (27°C)
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし
蒸気圧	該当情報なし
密度及び/又は相対密度	2.47g/cm ³
相対ガス密度	該当情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	該当情報なし
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の使用条件下では安定
危険有害反応可能性	該当情報なし
避けるべき条件	加熱
混触危険物質	該当情報なし
危険有害な分解生成物	ふっ化水素、酸化ほう素
11. 有害性情報	
急性毒性	経口: 該当情報なし 皮下: LD ₅₀ 550mg/kg (ラット) 吸入: 該当情報なし (粉塵)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	該当情報なし フッ化物としてACGIH-TLV(2005)では眼刺激性があるとしているが、細区分の指標となる動物の試験データが見つからない。安全性の観点から2Aとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器: 該当情報なし 皮膚: 該当情報なし
生殖細胞変異原性 発がん性	該当情報なし
生殖毒性	ACGIH-TLV(2005)ではフッ化物をA4(区分外相当)に分類しているが、データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	MAK/BAT(2005)ではフッ化物をC(発生毒性がない)に分類しているが、データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)	Priority 1文書のACGIH-TLV(2005)ではフッ化物として気道刺激性があるとしており、区分3(気道刺激性)とした。
誤えん有害性	Priority 1文書のACGIH-TLV(2005)ではフッ化物として骨への影響(フッ素症)があるとしており、区分1(骨)とした。 該当情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期: 該当情報なし(急性) 長期: 該当情報なし(慢性)
残留性・分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性 オゾン層への有害性	該当情報なし 該当情報なし 該当情報なし 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国連番号	1759
品名(国連輸送名)	Corrosive solid, n.o.s
国連分類	8
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 国内規制がある場合の規制情報	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。
応急措置指針番号	154
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質
毒物及び劇物取締法	劇物
消防法	危険物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)[弗素及びその水溶性無機化合物] 危険性又は有害性を調査すべき物[弗素及びその水溶性無機化合物]
大気汚染防止法	有害大気汚染物質
水質汚濁防止法	有害物質
土壌汚染対策法	特定有害物質
船舶安全法	腐食性物質
航空法	腐食性物質
港則法	腐食性物質
16. その他の情報	
参考文献	NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) 16615の化学商品(化学工業日報社) 職場のあんぜんサイト(厚労省HP) The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。